

コロナ禍、緊急事態宣言発令で、公民館事業を中止せざるを得ない中、石田地区公民館では、令和3年度も多くの事業を実施することができます。

例年行っている夏休みの子ども向け勉強会は中止しましたが、代替事業として「ボニー乗馬体験」を実施。夏休みに家族で参加していただき、屋外で生きた動物にふれあうボニー乗馬は、大変貴重な楽しい体験になりました。秋には、「運動を楽しむ会（ミニ運動会）」や「グラウンドゴルフ」を地区のグラウンドで開催。また、「寄せ植え教室」を公民館前広場で開催するなど、屋外で行う事業を気候

石田地区 公民館

コロナ禍での 公民館活動の推進

が安定した時期に実施しました。屋外実施事業は、3密を避ける意味では非常に効果的で、今後も積極的に実施したいと考えています。

年末の人権週間には、男女共同参画を題材として福知山在住の女性落語家による「女流落語家奮闘記」と題した講演と、新作落語一席を人権講座として開催しました。地区の方々からは、人権講座は敷居が高く参加しないといふ声を多く聞きました。地区の方々からは、「落語は、柔らかい表現で人権について語っていた」と企画しました。足腰が良くなく、落語に興味はあるけれど、会場が遠方だと行きづらい、というご高齢の方に、慣れた公民館で生の落語に触れていただき、大変良



人権講座での落語家の講演

かつたとの感想をいただきました。

主要事業である「文化祭」は、緊急事態宣言が解除されましたが、運営側の準備不足などで中止せざるを得なかつたため、それに代わる事業「木管アンサンブルコンサート」を3月に開催する予定としています。

その他、昨年度同様に「公民館だより」を7号まで作成し、地域内全戸に配布されました。年間9回発行を予定しています。表面の公民館事業の案内のほか、裏面には地域個性を醸成するため、身近な話題を掘り起こして掲載しています。

中央 公民館

2年ぶりの 夏休み講座

折り紙教室の様子

中央公民館では、夏休みに子どもたちを対象に「夏休み講座」として科学教室、折り紙教室、おやつ作り教室、木工教室、中学生自主学習、小学生宿題教室の6つの講座を開講しています。昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためすべての講座を中止し、公民館は、ひつそりとした7・8月になりました。

今年度当初は、「講座を開くことができるだろうか」と不安でしたが、計画していた英語教室（1年ぶりの再開）、科学教室、折り紙教室、木工教室、小学生宿題教室、中学生自主学習教室の6つの講座は、感染予防対策を徹底して実施することができました。参

講座に参加した子どもたちの笑顔を見ることができました。お世話になりました講師の皆様、ありがとうございました。

講座に参加した子どもたちからは、「たくさんの人と交流ができるよかったです」「また来年も参加したい」「集中して取り組める環境だった」「もっと日数を増やしてほしい」などの感想がありました。来年度も、多くの子どもたちが参加してくれるよう、魅力ある講座を計画したいと思

人づくり、つながりづくり、地域づくりを支える公民館活動

まなびだより

コロナ禍での生活を強いられています。この間、各公民館においては、新型コロナウイルス感染症対策を最優先に考えながらも、地域の皆さんとのための「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」を大切にした公民館事業を開いてきました。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で、各公民館とも計画どおりに事業を実施できませんでしたが、それぞれの公民館で工夫した取り組みを行い、何とか今年度の公民館活動を終えようとしています。

人と人とのつながりは、楽しかったり嬉しかったり思わず喜びを得ることができます。訪れる皆さんに居場所があり、人と人とのつながりを感じ、心が温くなるそんな笑顔の集まる公民館であります。

岩瀬地域公民館（知遊館）
月）の3つの大きなイベントを行っています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、音楽会は開催できませんでしたが、今年度は、何とか3つとも実施することができました。

映画会は、京都府人権啓発ユニット派遣事業を活用し、8月7日に「歌と映画でつづる人権のつどい」と題して実施。鮎川めぐみさんのトークや児童合唱団による合唱、映画上映のほか、人権啓発のパネル展示なども行い、人権問題を考えるきっかけになつたのでないかと思っています。

音楽会は、音楽を愛する多くの方に楽器の生演奏に触れる機会を提供したいと加していただきたい。団体の皆さんのはばらしい演奏が、有線テレビをとおして皆さんに届いたのではないかと思っています。

音楽会は、音楽を愛する年代層の方に楽しんでもらうため、「クリスマスコンサート」と題し、マリンバ・



クリスマスコンサートの様子

岩瀬地域 公民館 (知遊館)

「集う場」を活用しての 町づくり

打楽器・アンデス楽器など構成したコンサートを開催。コロナ禍にもかかわらず、園児や小学生の参加もあり、各年代から100人を超える方が参加され、子どもから大人まで楽しんでいただけたのではないかと思っています。

次年度も「集う場」を大切にして、文化の香り高い町づくりに寄与するため、皆さんからの感想などを参考しながら、より良いものを作り上げていこうと思います。

岩瀬地域公民館では、月）、ミュージックフェス（10月）、音楽会（12月）の3つの大きなイベントを行っています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、音楽会は開催できませんでしたが、今年度は、何とか3つとも実施することができました。

映画会は、京都府人権啓発ユニット派遣事業を活用し、8月7日に「歌と映画でつづる人権のつどい」と題して実施。鮎川めぐみさんのトークや児童合唱団による合唱、映画上映のほか、人権啓発のパネル展示なども行い、人権問題を考えるきっかけになつたのではないかと思っています。

音楽会は、音楽を愛する年代層の方に楽しんでもらうため、「クリスマスコンサート」と題し、マリンバ・

ミュー・ジックフェスタは、残念ながら今年も無観客での収録となりました。出演者の皆さんの方に見ていただきたいという思いでこのかたちにしました。参加していただきたい団体の皆さんのはばらしい演奏が、有線テレビをとおして皆さんに届いたのではないかと思っています。

音楽会は、音楽を愛する年代層の方に楽しんでもらうため、「クリスマスコンサート」と題し、マリンバ・